

9月議会一般質問

風間ルミ子議員は9月議会の一般質問で、TPP やいじめ問題などについて取り上げました。



質問する風間ルミ子議員
2012年9月18日 本会議場

**(風間) TPP参加
反対を明言すべきではないか**

市長はTPP参加により各分野への影響が具体的に、とりわけ農業分野への影響がどの程度か、国がどのような対策を講じるかなど十分な情報提供をするべきとの議会答弁をしているが、交渉内容は4年間明らかになりにくいことになっていく中で正しい判断はできないのではないかと。1980年代以降日米構造協定に基づく大店法の規制緩和、外国製品の参入障壁の廃止などによって、地域住民の日常生活を支えてきた多くの中小業者が廃業に追い込まれた。TPPはさらに自由化、規制緩和を進めよということであり、一層商店街の衰退が進むと考えるがどうか。TPP参加となった場合にも同じくなければならない。

食料自給率70%目標の達成は困難としているが、目標達成の具体的手立てはあるのか。世界的な天候不順、人口増加は食糧安全保障を脅かす。食はいのちの源、食料自給率向上こそ日本がすべき道。そのためにもTPP参加反対を明言すべきではないか。

(市長) 十分な情報が示されない現状であり、判断できる状況ではない

TPPについては、メリット・デメリットを正確に分析できる具体的かつ十分なデータや情報が示されない現状であり、TPP参加への判断はもとより、本市の中小企業者や商店街など地域経済への影響についても、申し上げられる状況はないと考える。

(風間) いじめの発生を見逃さないためにも、教員を増やし少人数指導体制作りを取り組むべき

本市におけるいじめの実態、及びその背景についてのどのように認識しているか。また、教職員と児童生徒の信頼関係づくりをどのように見直そうとしているのか。

学校現場での隠ぺい体質は学校評価制度が背景にあるのではないかと。いじめの発見を見落とさないためにも、教師が子どもたちとじっくり向き合う時間を保障することが重要である。市費でも教員を増やし、義務教育全学年で少人数指導が実現できる体制づくりに積極的に取り組むべきではないか。

(教育長) 小学校3学年以上の少人数学級ができるよう国・県に要望していく

本市の平成23年度のいじめの認知数は小学校124件、中学校117件だった。「冷やかし」や「仲間はずれ」「ぶつかる」「叩く」「金品の強要」「ネットを介した誹謗中傷」などが報告されている。いじめ問題をはじめ、学校の対応すべき課題がますます複雑化・多様化する中、教職員が児童生徒とじっくり向き合う時間を十分確保することは大変重要であると認識し、多忙化解消に取り組んできた。平成24年度は市費で39人の非常勤講師を配置し、丁寧に指導できるように取り組んでいる。いじめなどの問題行動を見落とさないためにも、小学校3学年以上の少人数学級が早期に実現できるように、国・県に要望していく。

(風間) 住宅地にある調整池の適切な管理を

北区、美里団地にある調整池は底部も法面も土で、7月くらいになると芦が繁茂しフェンスを乗り越え道路まではみ出て道幅を狭めてしまう。見直しも悪く、生活環境の悪化を招き、何よりも草だらけの調整池ではいざという時、貯水能力そのものに影響が出るのではないかと。住宅地にある調整池の維持管理は適切に行うべきではないか。



7月14日 美里調整池

(下水道部長) 住民の意見を参考にきめ細かな対応を行う

雨水調整池の維持管理は施設の機能を確保するとともに、住宅地などの生活環境を悪化させないように適切に行わなければならないと認識している。除草を含めた維持管理は現地での状況や過去の実績を踏まえるとともに、住民の意見を参考にしながら、一層きめ細かな対応を行う。

(風間) 市民生活に密着した県道の改良や橋梁の架け替えの計画は



新鼻大橋

北区の新鼻大橋は、普通車でもやっとすれ違えるほどの幅が狭く、大型車が通る時はどちらかが待つていなければならない。見直しも悪く危険なことから以前から橋の拡幅、かけ替えの要望が上がっている。また、江南区にある亀田跨線橋は老朽化が激しく大変危険な状況である。市民生活に密着した道路の改良や橋梁の架け替え等が必要としている箇所数と整備の見直しを伺う。

(土木部長) 緊急性等を考慮し判断していく

政令市となり県から引き継いだ事業以外の県道の整備のなかで、市民生活に密着した道路改良や橋梁の架け替えを検討している箇所は4カ所ある。今後の整備については緊急性や費用対効果などを考慮しながら判断していく。